

LASER. World of Photonics China 2009 ファイナルレポート

第4回 国際レーザー・オプトエレクトロニクス応用技術専門見本市
2009年3月17日～19日
中国・上海新国際見本市会場

2009年3月

Summary

- 32ヶ国から22,000人が来場
⇒前回比20%増（過去最高）
- 中国国内外から220社が出展
⇒前回比6.8%増
- 出展面積はおよそ9,000㎡
- 出展社のうちおよそ50社が特別エリア
「Optics and Manufacturing of Optics」に参加



Facts & Data

| | |
|-----------------------------|--|
| 会 期 | 2009年3月17日(火)～19日(木) 午前9時～午後5時(最終日のみ午後4時まで) |
| 会 場 | 中国・上海新国際見本市会場 |
| 主 催 | MMG - ミュンヘン見本市会社 MTFS - ミュンヘン見本市(上海)会社 COS - Chinese Optical Society |
| 規 模 | 全1ホール 9,000㎡ |
| 出 展 企 業 | 14ヶ国 220社(2008年 16ヶ国 206社) |
| 来 場 者 総 数 | 32ヶ国から22,000人(2008年 18,428人) ⇒ 2008年比20%増 |
| 専 門 分 野 | レーザー・オプトロニクス、光学、光学製造技術、センサー・測定技術、生産技術、 光学測定システム、医療技術・バイオテクノロジー、イメージング、イルミネーション |
| 主 な 出 展 品 | 光学コンポーネント : レーザー・オプトロニクス、オプティクス、センサー、検査・計測 オプティカル製造技術・光学アプリケーション : レーザー加工・製造技術、オプティカル計測システム、医療用レーザー、バイオテクノロジー、イメージプロセッシング |
| 出展日本企業 (現地法人・ 代理店出展含) | サイバーレーザー(株)、シグマ光機(株)、(株)ジャパンセル、三菱電線工業(株)、ミヤチテクノス(株) (50音順) |
| 専 用 U R L | www.world-of-photonics.net (英語 / 中国語) |

2009年3月17日から3日間に渡り、中国・上海新国際見本市会場で開催されたLASER World of Photonics China 2009は、昨今の経済低迷が、レーザー・フォトンクス業界の成長を妨げているにもかかわらず、今回も成功裏に終了した。

出展社数、来場者数共に大きく伸びたことに加え、来場者に質が大きく向上したことから、中国におけるレーザー・フォトンクス業界が成長市場であることを明白にした。

出展社から高い評価

LASER World of PHOTONICS Chinaは、今年も前回を上回る結果を残した。およそ9,000㎡の出展エリアには、前回より6.8%多い14ヶ国から220社が出展した。IPG (Beijing) Fiber Laser Technology CO., LTD.社の副ジェネラル・マネージャである Joseph Hu氏は、「来場者の質が非常に高く、出展効果が大きいことから、世界的な金融危機や経済の低迷に直面しているが、中国市場において当社はまだ大きな可能性を感じている」と話している。

LASER World of PHOTONICS Chinaは、グローバルに活躍する企業が多く出展することで知られているが、今年もTRUMPF社、ROFIN-SINAR社、Coherent社、Newport Spectra Physics社、nLight社、GSI社、ミヤチテクノス(株)、Laservall社、LINOS社、JENOPTIK社、といった業界をリードする企業や団体が多数出展した。また国内からも、Han's Laser社、Chutian社、Huagong社、Ncrieo社といった主要企業が出展した。材料加工やアプリケーション用のレーザー及びレーザーシステム分野のほか、今回は出展社のうちおよそ50社が特別エリア「Optics and Manufacturing of Optics」に参加した。Tian Jin EO Technics Co., Ltd社ジェネラル・マネージャのJames Ko氏は、「当社は今回2度目の出展だが、出展規模が拡大していて、質の高い来場者が非常に多かった。中国はレーザー業界にとってまだまだ大きな可能性のある市場なので、今後も引き続き参加したい」と話している。

またHan's Laser社CEOのGao Yunfeng氏は、「このような国際企業が多く集まるプラットフォームがあることに感謝している。今回も、質の高い来場者が非常に多かった」と高く評価している。

質の高い来場者

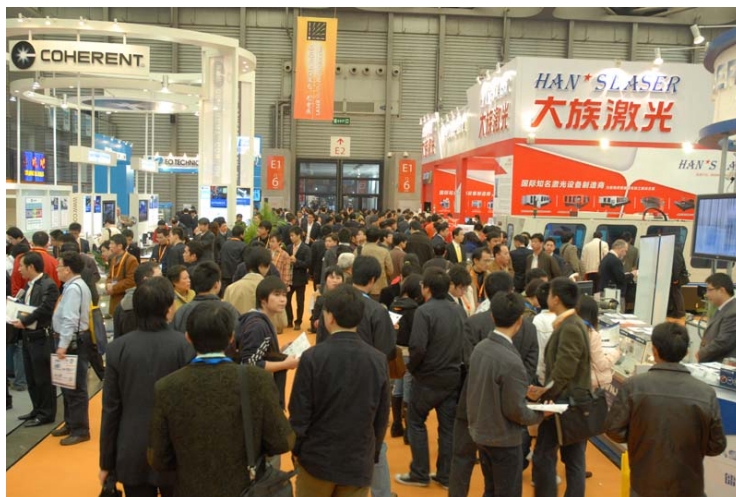
今年に来場者数は、出展社、主催者両者の予想を上回る結果となった。3日間で、前回より20%多い32ヶ国から22,000人が会場に足を運んだ。中国国外からの来場者としては、韓国、アメリカ、台湾、ドイツ、香港からが多かった。数もさることながら、質も非常に高く、来場者の多くは専門家や業界のリーダー、意思決定者などがその多くを占めていた。

Coherent (Beijing) Commercial Co., Ltd社ジェネラル・マネージャのPeter Chen氏は、「来場者の数も質も向上し、これまでで一番良い結果が出た」と話している。またTRUMPF China (Hong Kong) Ltd.社レーザー・テクノロジー担当ジェネラル・マネージャのGunther Weinmann氏は、「3日間で非常に大きな成果を得ることができた。今回は高い技術力を持ったエンジニアの来場が多かったが、R&Dや製造担当者は、当社のレーザー技術を使って、いかに自社の新しい製品を改善できるかということに大きな興味を持っていた」と話している。

併催イベントで業界の動向を協議

Laser World of PHOTONICS Chinaのハイライトの一つが、2つの併催イベントだ。

微細加工や光学部品、レーザー・システムとその安全性についての会議「The 4th International Conference on Laser Processes and Components (LPC 2009)」とレー



ザー技術の最先端と今後の挑戦についての会議「The Optics Frontier – 2009 “Laser Technology Forum and Outstanding Achievements Release Conference of Chinese Optics 2008”」。48 人もの各国の専門家が最先端のレーザー・デバイスについてのプレゼンテーションを行い、900 人が参加した。

政府による強力サポート、相乗効果強化による価値の向上

今年もメッセ・ミュンヘンの主導で、SEMICON China、CPCA Show 及び electronica & Productronica China を、「Shanghai International IT & Electronics Fair 2008 (SIIEF)」という一つの大きな総合見本市の傘下で開催した。SIIEF は、上海市の政府機関である上海市政府情報化委員会及び上海市浦東新区人民政府の二つの公的組織に支援されており、今回の SIIEF 2009 としての出展面積は 9 ホール 110,000 m²で、中国最大規模のエレクトロニクス総合見本市となった。

次回は、2010 年 3 月 16 日から 18 日に、中国・上海新見本市会場で開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.world-of-photonics.net まで。

資料請求、出展申込み、入場券購入、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2-4 三番町 KSビル 5F 在日ドイツ商工会議所内

Tel.: 03-5276-3508 Fax: 03-5276-3509 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.com (英語/ドイツ語)